

# とまこまい 市議会だより

## TOMAKOMAI CITY COUNCIL NEWS

### ■ 編集・発行

苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会  
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号  
TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839  
URL <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gikai/>

第15号 平成28年8月10日発行



第6回定例会を開催いたしました。

(平成28年6月23日(木)～7月1日(金))



## CONTENTS

第6回定例会概要	2p
市議会トピックス	3p
委員会報告	4p
会派のページ	6p
【スポット】	
開かれた議会をめざして	12p
議会からのお知らせ	12p

写真提供/撮影者：はやし ひろし  
撮影場所/緑ヶ丘公園展望台 (市政50周年を記念して建設され、展望室の形状は電波障害が考慮されています。)

市長選挙と市議会議員選挙の統一選挙実施に関する陳情について

会派名	所属議員名	質問及び意見	開催日	結果
緑風	矢嶋翼 / 岩田典一 / 阿久津修一 / 木村司 金澤俊 / 竹田秀泰 / 宇多春美 / 板谷良久			
		会派内で十分協議することが必要とするために継続審査としたい	3月18日	☆
		会派内で協議し、賛否両論があるが経費の削減や投票率向上につながる趣旨は理解できるので趣旨採択	4月22日	△
		前回同様の趣旨採択	7月1日	△
改革フォーラム	松井雅宏 / 矢農誠 / 越川慶一 / 牧田俊之 首藤孝治			
		国において地方選を再統一化する動きなどはあるのか等を質問	3月18日	☆
		この陳情が出される前から会派としては賛同しており採択としたい	4月22日	○
		前回同様採択と考えるが、今後議論を進めるのであれば趣旨採択に賛同する	7月1日	△
公明党議員団	池田謙次 / 林光仁 / 藤田広美 / 神山哲太郎 大西厚子			
		同日選挙の経費について等を質問	3月18日	☆
		会派として全員が同日選挙に賛成であるので採択としたい	4月22日	○
		他会派の意向も十分理解できるので趣旨採択としたい	7月1日	△
日本共産党市議団	渡辺満 / 富岡隆 / 小野寺幸恵 / 工藤良一			
		慎重な審議を望むため継続審査としたい (他都市における状況の資料要求)	3月18日	☆
		市民の負託に応えることの4年間であるので任期を全うすべき、市長が変わるたびに解散する懸念がある	4月22日	×
		具体的な議論は今後の課題として進めることを前提に、投票率のアップや経費の削減など趣旨には賛同できる	7月1日	△
民進党・市民連合	西野茂樹 / 小山征三 / 松尾省勝 / 岩田薫			
		会派内で協議し、検討が必要と考えるため継続審査としたい	3月18日	☆
		会派として6月、9月をめぐりに議論を重ねていくため一定の期間が必要であり、継続審査としたい	4月22日	☆
		会派内で議論し、陳情に反対する方はおりませんので趣旨採択としたい	7月1日	△
会派市民	谷川芳一 / 桜井忠			
		他都市の選挙状況について等を質問	3月18日	☆
		市長の辞任に合わせて議会の解散には賛同できないし、他市に例もない。民主主義の手続きにも反している	4月22日	×
		議論は十分と言えないが陳情者の趣旨は理解できる	7月1日	△

採択：○ 趣旨採択：△ 不採択：× 継続審査：☆

**市議会トピックス**

議会改革検討会では、次の事項が協議されました

- 1 議会基本条例の制定については、高沖秀宣氏を講師に迎え、第2回議会基本条例議員研修会を開催することを決定しました。
- 2 予算・決算委員会の日程及び予算編成の事前協議については、審議日程は委員会の終了時間を考慮し予備日を活用して調整することを確認しました。また、予算編成の事前協議は、今後とも検討を行うっていくことを確認しました。
- 3 一問一答方式については、6月定例会から試行され「傍聴する市民の皆さんにも議論がわかりやすくなったのでは」等の意見が出されましたが、試行初回であり多くの改善提案も出されました。
- 4 議会フェイสบックの開設計及び議会のICT化の推進については、他都市でタブレット端末を導入している6市の特徴と問題点について調査結果が報告され、フェイสบックの開設計についてもさらに議論を進めていくことが確認されました。

本会議において初の一問一答方式が試行されました！  
福祉トイレカー事業など原案どおり可決

～ 一般、特別、企業会計総額で1億6,769万7千円の補正予算を可決～  
平成28年6月23日(木)～7月1日(金)

第6回  
定例会

第6回市議会定例会は、6月23日(木)から7月1日(金)まで開かれ、議案14件、報告10件、要望意見書3件などの審議が行われました。本会議開会前に、この度の熊本地震で犠牲になられた方に心からの黙祷が捧げられました。

一般質問では6会派18人の議員により、市長の政治姿勢、福祉・介護行政、中心市街地活性化、防災対策、観光振興、教育行政などの幅広い分野について活発な議論が行われ、一般質問では全議員が初の試行となる一問一答での質疑を行いました。

各常任委員会・特別委員会では、出光興産北海道製油所 重油直接脱硫装置および北海道電力 苫東厚真発電所2号機運炭装置コンベヤ建屋の火災概要、苫小牧市スポーツ推進計画、053(ゼロごみ)大作戦ステージ4(総括、苫小牧市立小中学校規模適正化地域プラン(Aブロック・Eブロック改定案)、市営住宅使用料の算定誤りによる経過報告について、空港経営改革、(株)苫東の経営概況について、熊本地震に係る本市の対応について、(仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想の概要などに

ついて質疑が行われました。今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

**報告**

平成27年度一般会計の継続事業として行われている沼ノ端クリーセンター長寿命化基幹改良事業、和光中学校校舎大規模改修・耐震補強工事の継続費を28年度へ繰越。さらに全庁舎ネットワーク基盤整備事業をはじめ14件の繰越明許費と、下水道事業会計では下水道築造工事に要する経費が28年度へ繰越されることが報告されました。また、市営住宅の明渡しと滞納家賃の支払いを求める訴えの提起の専決処分についても報告されました。苫小牧市税条例等の一部を改正する報告では、国民健康保険税のうち、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において金額の引き上げが報告され承認されました。このほか、市営住宅駐車場において、市有自動車に接触し相手方車両を損傷した物損事故に伴う損害賠償額の決定の専決処分について報告されました。

**議案**

【平成28年度補正予算等】

一般会計では、苫小牧振興公社退職金支援補助金として3,000万円、指定寄附金を活用し総合体育館の柔道施設の整備を行うスポーツ施設整備費706万3千円、障がい者や車椅子使用者が野外活動時にトイレの不便解消の為に福祉トイレカー事業費1,900万円、福祉ふれあいセンター1指定管理費1,761万5千円、地域の要望に基づき、子育て支援と地域交流の拠点となる沼ノ端鉄北地区複合施設整備事業費5,787万円(うち繰越明許費5,032万9千円)苫小牧市不登校児童生徒支援事業費295万1千円、特別会計では、国民健康保険事業会計の制度改正に伴うコンピュータ等のシステム改修事業費745万2千円、下水道事業会計では、苫小牧下水道管理株式会社の出資金の返還金を収入として補



福祉トイレカー(イメージ図)

の為に福祉トイレカー事業費1,900万円、福祉ふれあいセンター1指定管理費1,761万5千円、地域の要望に基づき、子育て支援と地域交流の拠点となる沼ノ端鉄北地区複合施設整備事業費5,787万円(うち繰越明許費5,032万9千円)苫小牧市不登校児童生徒支援事業費295万1千円、特別会計では、国民健康保険事業会計の制度改正に伴うコンピュータ等のシステム改修事業費745万2千円、下水道事業会計では、苫小牧下水道管理株式会社の出資金の返還金を収入として補

正されることが、それぞれ原案どおりに可決されました。

【条例の一部改正】

女性センターの名称を男女平等参画推進センターに改める等のため「苫小牧市民活動センター条例」テックノセンターの位置を変更するための「苫小牧市テックノセンター条例」、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正による教育長の任命に伴う「苫小牧市議会委員会条例」の一部改正について、原案どおり可決されました。

【動産の取得】

小中学校の校務用パソコン795台を1億209万9,169円で、また、救助工作車Ⅱ型機装及びシャシを計1億3,672万8千円で取得することについて原案どおり可決されました。

【契約の締結】

消防防災訓練センター新築主体工事3億4,468万2千円、豊川コミュニティセンター大規模改修主体工事3億1,957万2千



救助工作車(写真はイメージです)

常任委員会

駒澤大学一学部一学科  
(キャリア創造学科)一本化へ

総務委員会

小山 征三 委員長

所管事項の苫小牧駒澤大学「定員の削減と学科の統合」については、大学を存続させるため、来年6月に実施される第三者評価の認証評価の基準をクリアし、定員充足率の向上及び法人依存の経営改善を図ることが示されました。

また、市の「総合行政システム」の再構築については、市が導入している基幹業務システムの更新に併せて、福祉系システムも更新を行い、新たに「総合行政システム」として平成31年1月稼働に向けてことが示されました。これにより今後は、窓口業務の一元化など検討する旨の答弁がありました。



苫小牧駒澤大学

「053(ゼロ)み大作

ステージ4「総括について」などを議論

厚生委員会

神山 哲太郎 委員長

付議案件はなく、所管事項の4件が審議されました。苫小牧高齢者保険福祉計画・第6期介護保険事業計画の内容変更については、介護予防・日常生活支援総合事業が1年前倒しされ28年度より事業開始に向け整備を進めることが示されました。053(ゼロ)み(大作戦)については、総括の内容や課題などは、口頭での説明であったため、委員から資料で示すべきとの指摘がありました。また、リサイクル率の向上では、生ごみの減量や企業などから出されるごみの今後の展開について活発な議論がなされました。



ぼい捨て防止看板

明徳小・東小中に係る規模適正化改定案を審議

文教経済委員会

矢嶋 翼 委員長

所管事項の「苫小牧市立小中学校規模適正化地域プラン(Aブロック・Eブロック改定案)」で、平成32年4月に明徳小を錦岡小へ統合。さらに32年度内に東小・東中を東中敷地において両校改築を終え、新校舎供用開始予定との説明があり、各委員から通学路安全確保、転校による授業への影響、住民説明会の取り組み等について質疑がありました。また、「アイヌ文化教育に関する陳情」については、生徒の文化活動で欠席する場合は扱いを求めた陳情であるが、学校教育における欠席とは異なるとの各委員から意見が多く、審査の結果、願いに沿いがたく不採択となりました。



保護者説明会の様子

「市営住宅使用料の算定誤りによる経過報告」について審議

建設委員会

竹田 秀泰 委員長

「市営住宅使用料の算定誤りによる経過報告」について、今年3月、入居者より家賃についての問い合わせがあり、調査の結果、20年度から家賃算定システムに誤入力があり、過大徴収24世帯37件、過小徴収6世帯10件がありました。また、対象30世帯を訪問し、陳謝するとともに内容を説明しました。過大徴収については、5月2日付で返還し、過小世帯の6世帯には、追加徴収の理解を求め、現在1世帯と協議中であるとの説明がありました。



算定誤りの再発防止について質疑

市長選と市議選の

統一実施を望む陳情を

「趣旨採択」

議会運営委員会

林 光仁 委員長

前議会から継続審査となっていました「市長選挙と市議会議員選挙の統一選挙実施に関する陳情」の審議では従来統一であった市長と市議会議員選挙は、平成10年以降市長の辞任で別々となっていました。これに対し、経費や投票率の改善などから、「苫小牧市政に提言する市民の会」から陳情が出されていました。(平成28年2月提出)

3月より精力的に議論を進め、改革フォーラム、公明は「採択」、緑風は「趣旨採択」、民進党・市民連合は「継続審査」、共産と会派市民は、4年間という任期や市長が変わるたびに解散する懸念もあるとして「不採択」の意向を示していましたが、7月1日での委員会では、具体的な内容がしっかりと議論を深めることが必要としたりえで、陳情の趣旨は理解できるとし、委員会として「趣旨採択」としました。

特別委員会

ガントリークレーンの

安定的な運用を

総合開発特別委員会

金澤 俊 委員長

今回は、苫小牧港東港区のガントリークレーンの事故について、その経緯や責任の所在についての質疑がありました。苫小牧市が物流拠点たる大きな要素である港湾の荷役を担っているガントリークレーンであるだけに、その安定的継続的な運用が求められています。

また、新千歳空港の経営改革について、資料として「空港経営改革について」が配布され、国の目指す空港経営改革のポイントから北海道における今後の進め方などについて説明され、質疑がなされました。最後に、苫東地域における自動走行試験場の誘致について、質疑があり、今後大きな波及効果が期待できることが明らかにになりました。経済都市苫小牧市にとって、ま

たひとつ明るい話題となりそうです。



コンテナ船の衝突被害状況

(仮称)苫小牧市民ホール建設の

質疑が開始しました

安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会

小野寺 幸恵 委員長

今委員会では、「樽前山火山防災協議会の設立について」と「苫小牧自主防災組織連合会の設立について」「熊本地震に係る本市の対応について」「(仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想の概要について」の報告がありました。

「樽前山火山防災協議会の設立について」では、協議会のメンバーにガス関連やコンビナートなど

が含まれていないことから、含めることが提案され、災害対策特別措置法の改正に伴う火山ハザードマップの見直しなどについても質疑がありました。

「(仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想の概要について」では、市民参加型で「親近感と愛着をもてる施設」という考え方で臨むことが説明され、今後の進め方や財源の考え方、建設候補地など、活発な質疑が交わされました。



# 緑 風

矢嶋 翼・阿久津修一・岩田 典一・金澤 俊  
木村 司・竹田 秀泰・宇多 春美・板谷 良久

## 海外行政視察報告

観光は日本の力強い経済を取り戻すための極めて重要な成長分野であり、年間150万人以上の外国人観光客が北海道を訪れております。市としても今年2月に「苫小牧市観光振興ビジョン」を策定し、観光を重要施策と位置付けたことから、諸外国から見た観光資源の考え方や、国際交流の取り組みについて調査することは非常に重要であると考えております。

海外行政視察を企画するにあたっては、北海道を訪れる外国人観光客でもっとも多い国である台湾を選定し、日本統治時代のなごりを観光・教育資源として活用している台南市、コンテナ取扱数量世界13位で台湾最大の港である高雄港、台湾観光協会などを訪問し、国際交流・港湾管理運営・観光振興など幅広く調査して参りました。



高雄市 5月30日 月曜日

【訪問先】  
◎台湾港務股份有限公司高雄港務

分公司  
◎高明貨櫃碼頭股份有限公司  
◎台湾日通国際物流股份有限公司  
高雄分公司

シンガポールをはじめとするハブ港の台頭に加えて、台湾企業の国外移転などの影響を受けてコンテナ取扱数量が減少。現在ハブ港化を目指し、第3港区の開発を進めております。

港務荷役の24時間化運用を開始するにあたり労働組合を企業化し、ストライキがない安定した港湾運営となっております。

トラック輸送に関しては中国からの観光客増加により、バス需要が増加したことからドライバー不足が懸念されています。

コンテナヤードは無人工が進んでおり、効率良く運営されています。無人化のために多くのカメラを設置する必要があり、雪の降る北海道での運用には工夫が必要だと感じました。ゲートのOCNシステムは東港周辺の渋



滞改善にも有効であり、大変参考になりました。

台南市 5月31日 火曜日

## 【訪問先】

- ◎台糖精緻農業事業部
- ◎光華高級中学校
- ◎崑山科技大学
- ◎台南市議会
- ◎台南市政府教育局
- ◎台南市台日友好交流協会

光華高級中学校は私立の高校であり、経済情勢や時代の趨勢に合わせて、デザイン・国際教育・幼児教育・データ処理・調理・商業などの学科があります。日本の各種専門学校を統合したような学校であり、生徒は就業に直結する技術を習得することができます。日本と同様に天然資源の少ない台湾では人的資源の拡充を重要視しており職業教育に力を入れていることがわかりました。

崑山科技大学では、第一学年の学費免除や、留学生のレベルに合わせた語学習得など、日本からの留学生を獲得するための様々なプログラムが用意されていました。

背景には、出生率が世界最下位の1.12であり、学生の確保が非常に難しくなってきたためです。学費や渡航費用が安く、中国語圏でも十分に英語を習得できる環境にあることから、非常に条件の良い留学先であることがわかりました。



台南市には林百貨店や日本式家屋など、日本統治時代の歴史的建造物が多々あり、観光・教育施設として活用されていました。日本からの修学旅行先として注目され始めており、苫小牧の高校にも情報提供したいと考えています。

台南市は台湾においても特に親日であり、教育・文化を中心とした交流を深めることが本市にとって有効であると感じました。

台南市議会では、3年前に郭副議長が台湾マンゴリーのセールスで日本を訪れた話を聞きました。後部座席までマンゴーを詰め込んだ

車で連日街頭PRを行い、疲れきっている時に、たまたま戦時中、台湾に住んでいた高齢者に出会い『死ぬ前にまたこのマンゴーが食べられるなんて夢のようだ』という言葉でみんなが元気になったというエピソードを聞き、多に盛り上がりました。後日、地元紙の台南新聞に『日苫小牧市議会緑風黨訪議会』というタイトルの記事が載りました。

台北市 6月1日 水曜日

## 【訪問先】

- ◎台湾観光協会
- ◎台日産業連携オフィス(TJPO)

台湾観光協会では、苫小牧市の観光事業の可能性についての意見交換が中心となりました。



Taipei International Travel Fair (台北観光フェア)への参加・出展、現地コーディネーターの育成、旅行者対象のセミナー開催など、今後の観光事業の取り組み

に直結する具体的なアドバイスも頂けました。苫小牧市の観光事業を推進していくには、道内他都市との差別化が必要であり、まず市独自の魅力について調査しなければならぬと感じました。

## 視察を終えて

訪問した3市全てにおいて想像以上の歓迎を受け、台湾が親日であることを参加者全員が実感しました。現時点では中国語圏ということもあり、留学先としての人気は高い方ではありませんが、今後台湾との友好を深めていくことが国際理解教育や、国際交流の促進、観光事業の取り組みにおいて、非常に有効であると感じました。この視察での経験を生かし、この交流が全体的に広がるよう努めていきたいと思っております。



# 市民派会

谷川 芳一・桜井 忠



谷川 芳一 議員



桜井 忠 議員

## ■一般質問

1. 中央ふ頭ガントリークレーン事故について
2. アイススケート場の通年利用について
3. 待機児童について
4. 明德小学校閉校と小、中校適正化について
5. 錦岡農園について
6. 錦岡雇用促進住宅について
7. 環境行政
8. 糸井清掃センター管理業務について
9. 沼ノ端クリーンセンター管理業務について
10. 事業系ゴミの分別収集について
11. 熊本地震を参考にした体制について
12. 阿、川沿公園体育館
13. 出光カルチャーパーク
14. 豊川コミセン
15. 北海道の交通体制
16. 新千歳空港の民営化について

## ■議案審査

補正予算 福祉トイレカー事業について

## ■委員会

### 建設常任委員会

市営住宅使用料の算定誤りによる経過報告に対する質問

### 議会運営委員会

市長選挙と市議会議員選挙の統一選挙実施に関する陳情の審査  
市長の辞任で議会が解散するという例は全国にない。今後も市長の体調や衆議院などへの鞍替えが有り得るが、その都度選挙をすることは現実的でない。東京都の例によればその方が経費がかかる。法によれば市長の不信任の際、その時議員の選挙となれば不信任の障害になり、市長から言えば対抗手段としての解散も効果がなくなり、民主主義の手続きが崩れる。公費負担は4年間有効だがこの選挙で失われる。選挙でこのことを訴えた議員は一人もいない。しかし、統一にすることで経費が抑えられ投票率にも寄与する点で趣旨採択に賛成する。

# 公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美  
神山哲太郎・大西 厚子

「子ども送迎バス」「道路案内標識」「立地企業支援」「港まつり」「市民ホール事業」について質疑を行いました。子ども送迎バスについて用具の多さ・大きさ、練習の開始時間などから小学生のアイズホッケーでの実現性や効果の検討を、港まつりに関しては、西港区での2日間の開催、港内クルーズ。市民ホール事業については建設場所を総合体育館南側及び市民会館跡地利用で学校(学生)の誘致に関して提案を行いました。

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*

## 一般質問 (抜粋)

【藤田 広美 議員】



「地方創生の取り組み」を質問し、企業版ふるさと納税を実施する方向で検討。

「とまこまヨッピーポイント事業」は8月上旬にオープニングイベントを開催し、カードの配布とポイント付与を検討。約100事業で付与する予定など答弁。「地域包括ケアシステムの推進」では、29年度から、専任担当者の配置を協議し、体制強化を進める。生活支援コーディネーターは、28年度中に方向を示す。「認知症対策」に「見守りたい養成講座」を10月に実施し、見守りステッカーを作成。行方不明者対策で、本人確認のシールを秋頃に作成。思い出等を書き込めるパンフレットを提案。28年度は、エンディングノート400冊を配布予定。「がん対策」で、低い受診率を指摘。胃がん検診に内視鏡検査の29年度導入を予定。クーポン券での未受診にコー

ラ無料クーポン券を再送付。健康フェスタに、がん体験者の講演会を予定。他にも胃がんのリスク検診やワンコイン検診などを提案。

【神山 哲太郎 議員】

「市民ホール事業」について集客席数や利便性を考えたときに建設場所や駐車場の確保など重点に考慮すべきと提言しました。「啓北中・北光小の改築・大成小の改修」について補助事業費の削減から工事の遅れが懸念されているが、万が一の場合は市が単独でも資金を出して工事を進めるべきと質問しました。「道路案内表示」について国道・道道等から市道への表示のあり方について質問し、これまでは国・道と連携が無いことが明らかになりました。今後は、協議し、分かりやすい表示に努めるとの答弁がありました。その他「電子母子・父子健康手帳」「中学校の部活動の連携」について質問しました。

【大西 厚子 議員】

「男女平等参画の取り組み」について、成果目標・数値目標を設定すべき、また、できる限り男女別

ら無料クーポン券を再送付。健康フェスタに、がん体験者の講演会を予定。他にも胃がんのリスク検診やワンコイン検診などを提案。

【神山 哲太郎 議員】

「市民ホール事業」について集客席数や利便性を考えたときに建設場所や駐車場の確保など重点に考慮すべきと提言しました。「啓北中・北光小の改築・大成小の改修」について補助事業費の削減から工事の遅れが懸念されているが、万が一の場合は市が単独でも資金を出して工事を進めるべきと質問しました。「道路案内表示」について国道・道道等から市道への表示のあり方について質問し、これまでは国・道と連携が無いことが明らかになりました。今後は、協議し、分かりやすい表示に努めるとの答弁がありました。その他「電子母子・父子健康手帳」「中学校の部活動の連携」について質問しました。

【大西 厚子 議員】

「男女平等参画の取り組み」について、成果目標・数値目標を設定すべき、また、できる限り男女別

展開。町内会活動の活性化では市職員が町内会役員に就任するよう提案し、町内会管理街路灯の今後のあり方についても課題を提起。さらに家庭学習の推進として親子読書を提案し、第16中学校新設については地域と市教委が共通認識を図り進めることを要望しました。

【林 光仁 議員】

「苦小牧市福祉ふれあいセンターの指定管理者の指定について」質疑。デイサービス事業の、「送迎方法」は、ルート送迎にならざるを得ないと答弁があり、重度の方など、冬期間を考えて、玄関先までを基本とすべきと、求めました。「自主事業提案内容について」

は、30年度以降にシヨートステイを開始。28年度中に就労継続支援事業、29年度に相談支援事業とグループホーム(敷地内)の実施を予定していると答弁がありました。シヨートステイの前倒し実施、及び、医療的ケアが可能な体制づくりを求めました。他、デイサービスの「準備期間の内容」「最大利用者数と職員体制」について質問しました。

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*

【池田 謙次 議長】

第6回定例会も皆様の御協力でも無事終了する事が出来ました。心から感謝申し上げます。さて、今議会から、初の「一問一答方式」を試行実施致しました。市民の皆様からは、「とてもわかりやすい」との声が多く、主体者である市民の皆様は、財産であります。また、種々の課題も浮き彫りにされました。今後、様々な声を、よりよい議会運営のために生かし、さらなる議会改革を推し進め、市民の皆様が開かれた議会に努めて参ります。

# 会派のページ

# 改革フォーラム

首藤 孝治・牧田 俊之・越川 慶一  
松井 雅宏・矢農 誠

第6回市議会定例会の一般質問では牧田俊之議員、首藤孝治議員、越川慶一議員(質問順)が登場しそれぞれ議論を展開しました。今回の本議会から「一問一答方式」での質疑・答弁が試行となり、「一問一答方式」を選択しました。

【子ども送迎バス】「道路案内標識」「立地企業支援」「港まつり」「市民ホール事業」について質疑を行いました。子ども送迎バスについて用具の多さ・大きさ、練習の開始時間などから小学生のアイズホッケーでの実現性や効果の検討を、港まつりに関しては、西港区での2日間の開催、港内クルーズ。市民ホール事業については建設場所を総合体育館南側及び市民会館跡地利用で学校(学生)の誘致に関して提案を行いました。

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*

## 一般質問

【藤田 広美 議員】



重度心身障がい児者・医療的ケア児者の福祉サービス向上に向けて議論し、早期のシヨートステイ設置を求め、在宅医療の充実に向け、道が小児在宅医療の拠点として選んだ「稲生会」の近隣自治体や関係職員を集めた意見交換会に参加するよう求め「参加を要望する」との答弁。また、人口減少対策として、市内で就職することを条件に金融機関の教育ローンの利息分を市が負担する等の制度の創設を求め「検討を始めたい」との答弁がありました。

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*



一般質問で、国道36号の樽前地区片側1車線の拡幅とイオン前の渋滞緩和対策、緑跨線橋の工法・工期など道路整備について質疑を

【越川 慶一 議員】



総務常任委員会に報告された「苦小牧市スポーツ推進計画」に運動やスポーツを通じた「市民の健康寿命の延伸」が盛り込まれていないことを指摘し今後の考え方について質しました。超高齢時代が到来し、健康寿命の延伸で医療費や介護保険料の抑制を目指すことは、国はもとより、全国の自治体が直面している大きな課題です。計画推進にあたって「健康寿命の延伸」を念頭に入れながら取

【松井 雅宏 議員】



り組んでいくと共に、中間年の計画見直しの際に関係部署と協議していくとの答弁を引き出しました。

\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*

【矢農 誠 議員】

安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会にて、本年3月に設立された「樽前山火山防災協議会」について質疑。国の法改正を受けて、登山者や火山周辺の高齢者等が利用する施設に対して「避難確保計画」の策定と訓練実施が義務付けられている点を指摘し、「樽前山火山防災計画改定」の中で範囲等を検討していく方針が示されました。

補正予算では「沼ノ端鉄北地区への大規模児童センター設置」について質疑。新千歳空港の周辺対策としての予算計上で、地域待望の施設であることを指摘。この地区に大規模児童センターが設置される意義を再度確認する議論を行いました。平成30年秋季定の開設までより良い施設となるよう議論を進めてまいります。

# 民進党・市民連合

代表 小山 征三・副代表 西野 茂樹  
幹事長 松尾 省勝・副幹事長 岩田 薫

※平成28年6月1日付で「民主・市民連合」より、会派名を変更しました。

**★緑跨線橋工事 全面通行止めも**  
中央インターチェンジの建設は、32年度の完成を見込んでいることから緑跨線橋の拡幅工事について市長の見解を求めました。

緑跨線橋の拡幅工事について市長は、全面通行止めを前提とし、供用開始前に工事を完了する必要があることを示しました。

**★福祉避難所に都市ガス供給**  
豊川コミセンは、大規模改修工事で福祉避難所になりますが、給湯暖房を現在の灯油とプロパンガ

**今議会を振り返って**  
**★陳情を趣旨採択**  
3月から継続審査となっていた「市長選挙と市議会議員選挙の統一選挙実施に関する陳情」について私たちが会派は、これまで採択か趣旨採択かを検討してきましたが、「趣旨採択」の立場で臨みました。

今後、この陳情の思いを具体的に実施するべく「議会自らの解散」の発議などを含めて精力的に協議を進めていきます。

**★人工芝サッカー場**  
平成30年度供用開始を目指す  
緑が丘サッカー場の改修は、現在の南側ピッチ(競技場)を残し、北側ピッチに、人工芝による二面を整備する事が明らかになり、30年度に供用開始を目指すとの答弁がありました。

昨年度から試行として配置されている「学校図書館司書」は、28

**一般質問(小山征三議員)**

1 政治姿勢  
(1) 中央インターチェンジについて  
(2) まちかどミーティングについて  
(3) 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業について

2 防災対策  
(1) 震災対策について  
(2) 豪雨対策について

都市ガスの復旧状況の比較

過去の震災	復旧日数
阪神・淡路大震災(1995)	94日
新潟県中越地震(2004)	39日
新潟県中越沖地震(2007)	42日
東日本大震災(2011)	54日

小山征三 議員

**★総合開発特別委員会の質疑**  
この委員会  
で、再編交付金の活用事業と空港経営改革について取り上げました。特に、新千歳空港をはじめとする民間委託について、運営主体が国から民間に変わることによる「リスク想定と回避」が問題であり、また、市としての民間委託の可否判断と住民合

**西野茂樹議員の質疑**

1 緑ヶ丘運動公園  
(1) サッカー場の改修について  
(2) 運動公園の全体計画について

2 都市公園整備  
(1) 公園トイレ一部廃止の影響について

3 教育行政  
(1) 学校図書館司書の配置について

4 安全・安心なまちづくり  
(1) 熊本地震の影響について

5 町内会活動について

岩田 薫 議員

**★集団回収事業の効果を検証**  
27年度の集団回収における資源重量は、6千564tとなり取組みの効果は、非常に大きいとの検証結果が示されました。

昨年度の効果も踏まえ、集団回収団体を増やすことや回収量の目標数値を設定するなど全市的な取組みとなるよう啓発と周知をただし、さらなる幅広い対応を求めました。

市側は、回収団体数は微増であるが、今後、周知活動を継続し、増加の取組みを進めたいとの考えを示しました。

**松尾省勝議員の質疑**

27年度の集団回収における資源重量は、6千564tとなり取組みの効果は、非常に大きいとの検証結果が示されました。

昨年度の効果も踏まえ、集団回収団体を増やすことや回収量の目標数値を設定するなど全市的な取組みとなるよう啓発と周知をただし、さらなる幅広い対応を求めました。

市側は、回収団体数は微増であるが、今後、周知活動を継続し、増加の取組みを進めたいとの考えを示しました。

# 日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満  
工藤 良一・富岡 隆

**▼熊本地震の教訓から提案**  
熊本地震において、指定避難所には届いた食料などの支援物資が、自主避難をした方には行き渡らなかつた教訓から、自主防災計画に明記することを提案しました。また、迅速な罹災証明書発行の研修実施などについても提案しました。さらに、仮設住宅建設候補地のウトナイ中学校予定地と美原町公共施設用地に加え、若草中央公園を候補地とすることを提案しました。

**▼指定管理者が即日解雇**  
道の駅の指定管理者が正規社員を即日解雇したことを追及し、「法令違反ではないか」と、指定の取り消しを求めましたが、「内部の是正はされている」と、指定の継続が示されました。

また、26年度と27年度の比較では、管理者の総合評価が10点も下がっている異例の事態から、公募で指定管理者を選定することを提

**一般質問**  
渡辺 満

**▼子ども食堂」を提案**  
北海道の子どもの貧困率23.7%で全国ワーストワンですが、苫小牧市の子ども貧困率はさらに高く24.1%であることがあらためて示されました。この結果から、全国的に展開されている「子ども食堂」の取り組みを提案し、「前向きに取り組みたい」と答弁がありました。

また、雇用と子育て支援の視点から、若者の生の声を聞いて施策に生かすことも提案。「市民参加で幅広いチームを作って取り組んでいく」と答弁しました。

**▼認可保育園の増設を**  
子ども子育て新制度の施行にともない、保育現場での事務量が増えていることを示し、「システム化をしていけば簡素化できた」と指摘し、軽減策を求めました。

市は、「事務量が増え大変と認識している」と説明し、「今年度から保育士の補助を実施した」



**▼メガネ購入の補助を**  
学校の眼科検診で、0.6以下だった生徒児童に対して、「黒板やプリントの字が見えているのかどうか調査をしているのか」と質問。「調査はしていないが、放置はしていない」と答弁したため、

「ICT化は断念したが、入力フォームを各法人に適用して軽減を図りたい」と答弁しました。

また、保育園の待機児童が126人もいることに触れ、「待機児童の解消には認可保育園の増設しかない」と提案。「待機児童の動向と審議会の意見を聞いて検討したい」と答弁しました。

**▼小学校の統廃合で住民説明会**  
明徳小学校と錦岡小学校の統廃合での住民説明会で、多くの反対の声があがったことから、統廃合ありきの説明が理解を得られないことを指摘し、地域や保護者の声を聞いて市政運営に生かすことを強く求めました。教育長は「丁寧に説明し、理解を得るために努力していく」と答弁しました。

工藤 良一



年度4名増員して、6名体制で10小学校に配置される事となりました。さらに、今後全ての小学校に配置できるよう協議していくとの考えが示されました。

**議案 補正予算**  
小野寺 幸恵

**▼時効を超えた返還を**  
市営住宅の算定誤りで、誤算定が確認できた8年間遡って返還する補正予算が提案されたことを受け、「なぜ時効の5年を超えて返還できるのか」と質問。昨年発生した生活保護費の誤算定での返還は5年間であり、一昨年の還付加算金の誤算定では、文書保管年限(5年)を超えたものは確認できないとの理由から、5年間の返還だったため、「今後は、市民が不利益にならないように対応すべき」と提案しました。

※議会の詳細については、日本共産党市議団ホームページをご覧ください。



【スポット】 ■ 開かれた議会をめざして



【金井隆子さんのプロフィール】

苫小牧出身、現在、洗足学園音楽大学講師  
平成24年度から「青少年ミュージックキャンプ」  
合唱の部講師

第1回 議場コンサートを開催します

苫小牧市議会では、市民の皆さまに、より親しまれる議会を目指して、議場コンサートを開催します。

第1回 議場コンサートは、金井隆子さんをお迎えして、ソプラノ独唱を予定しております。

市民の皆さま、お気軽にお越しください。

入場無料

日時 平成28年 9月 8日(木)  
12:15～12:45

場所 市役所11階 本会議場

◆ 曲目：「この道」、オペラ蝶々夫人より「ある晴れた日に」ほか

本会議場を貸し出しています

年末年始を除いた議会に支障のない平日（9時から17時まで）に苫小牧市及び教育委員会が、主催若しくは共催又は後援する事業を対象に貸出しを行っています。  
議会事務局までお問い合わせください。



本会議場

議会からのお知らせ

【第7回市議会定例会 議会日程のお知らせ】

月 日	内 容	
9月7日(水)	陳情締切り（17：00まで）	
9月8日(木)	本 会 議	報 告 ・ 一 般 質 問
9月9日(金) ～13日(火)	本 会 議	一 般 質 問
9月14日(水)	常任委員会	
9月15日(木)	特別委員会	
9月16日(金)	本 会 議	残余議案・委員会報告・その他
10月3日(月) ～4日(火)	一般会計決算審査特別委員会	
10月6日(木) ～7日(金)	企業会計決算審査特別委員会	

※日程などについては変更になる場合があります。  
議会日程は議会運営委員会が協議され、定例会初日の本会議で決定されます。

事前に議会事務局までお問い合わせください。※土・日・祝日は休業。  
※常任委員会（総務、厚生、文教経済、建設）  
※特別委員会（総合開発、安全・安心及び市民ホール建設に関する）

◆ ご意見・ご感想お寄せください

「とまこまい市議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。

また、議会についてのご意見などありましたら併せてお聞かせください。

苫小牧市議会事務局

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

E-mail : gikai-soumu@city.tomakomai.hokkaido.jp

編 集 後 記

この6月議会から本議会での「一問一答方式」の試行が開始され、一般質問では18人全員が「一問一答方式」を選択し質疑を進めました。「議論が分かりやすくなった」「議論が深まった」等好評の反面「もっと掘り下げた質問をすべき」「追及する議員の能力がより求められる」といった課題もわかり、9月議会でも試行することが確認されました。一括方式に比べると格段にわかりやすい議論が展開されています。ぜひ議会傍聴へ足をお運び下さい。

とまこまい市議会だより  
編集委員 牧田 俊之

市民のみなさん議事を傍聴してみませんか

議会はどなたでも傍聴することができます。手続きは簡単。受付票に住所・氏名・年齢を記入するだけです。本会議（本会議場11階）、常任委員会・特別委員会（9.10階の委員会室）で傍聴ができます。

第6回定例会の傍聴者数は、本会議・常任委員会・特別委員会・議会改革検討会あわせて**43名**、ホームページのアクセス件数では、トップページ**1,609件**、中継画面は、**1,115件**となりました。

とまこまい市議会だより編集委員会

金澤 俊・越川 慶一・宇多 春美・牧田 俊之  
神山哲太郎・大西 厚子・工藤 良一・松尾 省勝  
桜井 忠

市議会はインターネットでも中継（生中継・録画中継）されています。  
あわせて、市議会ホームページもご覧ください。

検索は

次号発行予定は11月上旬の予定です。